土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor-No.2	**調査位置**	広島県福山市水呑町					**北緯**	34° 26′ 21.8545″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2021年 11月 11日 ～ 2021年 11月 12日			**東経**	133° 22′ 11.7961″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 125.08m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 19°	**使用機種**	
総削孔長	6.00m							**試錐機**	東邦D1-B
								エンジン	ヤンマーNFD12
								ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定年月日
1				玉石混り砂礫		黒褐	rd4		新生代第四紀	土石流堆積物。GL-0～0.85、1.50～1.70、1.90～2.30mは柱状の硬質な玉石。基質はφ2.0～5.0cmの角礫と粗粒砂からなる。基質部は緩く、指圧で崩れる。	
2	122.58	2.50									
3				弱風化流紋岩		青黒			中生代白亜紀	弱風化の流紋岩。柱状コアが主体であるが、GL-3.20、3.50m付近、4.6～5.3mは岩片状である。全体的に硬質であるが、ハンマーによる強打で割れる。GL-2.50～3.05まで変質しており，暗青灰色を呈する。【CM級】	
4											
5											
6	119.08	6.00									
7											

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.45	54	7	15	28/80	50/280	280	
1.43					50/0		
2.00		貫入	不能				
2.00	500	50/30			50/50	30	
2.48							
3.00		貫入	不能		50/0		
3.00							
4.00		貫入	不能		50/0		
4.00							
5.00		貫入	不能		50/0		
5.00							
6.00		貫入	不能		50/0		
6.00							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/11
					11/12